

作業補足シート

2 : 1 6

分野	端末処理	作業名	単心メカニカルスプライス（ $\phi 0.25$ 心線）
目的	$\phi 0.25$ 心線のメカニカルスプライスを行う。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. メカニカル スプライス 素子をセッ ト	<ul style="list-style-type: none"> 素子をメカニカルスプライス接続工具にセットする。 接続工具のクサビ挿抜レバーを手前に引き、素子の金属部が奥側になるように素子を置く。 クサビ挿抜レバーを奥に押すことで素子に対してクサビが打ち込まれることで、両サイドからファイバを挿入することが可能となる。 		0 : 2 2
2. ファイバの 清掃	<ul style="list-style-type: none"> アルコールを付けたキムワイプで心線に付着した埃やゴミを清掃する。 		0 : 3 5
3. ホルダのセ ット	<ul style="list-style-type: none"> 心線の先端をホルダから約 3 0 mm 出した状態でセットする。 		0 : 5 4
4. 被覆の除去	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバ心線ストリッパを用いて、ホルダにセットした状態で被覆を除去する。 被覆を向く際、ファイバを斜めや上下に傾けず真っ直ぐ引きぬく。 使用後は、毎回必ず光ファイバ心線ストリッパを清掃する。 		1 : 0 5
5. ファイバの 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ファイバに清掃のムラができないよう、ファイバを持つ手を返しながら清掃する。 		1 : 0 5
6. ファイバを カット	<ul style="list-style-type: none"> ファイバカッタにメカニカルスプライス用のスペーサ（10mm ゴムシート）をセットしておく。（メカニカルスプライス素子の関係で、融着より被覆除去部が 10mm 長くなる。） ファイバをファイバカッタにセットし、カットする。 ホルダがしっかりとファイバカッタの台座部に突き当たるようにセットする。 		1 : 1 3
7. 接続工具に ホルダをセ ット	<ul style="list-style-type: none"> 以降の作業においては、ファイバの先端をコネクタ本体に挿入するまで接触させないように注意する。 ホルダの後部を接続工具の台座部にある押し付け板に押し付け、ゆっくりと引く。 最後まで引き終えたらホルダをゆっくりと水平に倒し、ファイバを接続工具のファイバガイド（V 字部）に乗せる。 ホルダを素子に向かって接続工具に突き当たるまでゆっくりと 		1 : 3 6

	<p>ファイバを挿入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 反対側のファイバも同様に操作しファイバを挿入していくが、接続工具に突き当たる手前（2～3mm 程度）で先に入れたファイバに当たりホルダが少し動く（左右のファイバが突き当たる）ことを確認する。 ・ そこから、接続工具と左右のホルダの隙間が目視で同じになるまで挿入する。 	
8. ファイバを取り出し完成	<ul style="list-style-type: none"> ・ クサビ挿抜レバーを手前引き、素子からクサビを抜くことでファイバがクランプ（接続）される。 ・ ホルダを手で押さえながら蓋を開け、素子を取り外せば完成。 	2 : 0 4
使用器具	メカニカルスプライス（成和技研 MS102）、ファイバカッタ（古河電工 S326）、ストリッパ（成和技研 MS-102-14）、ファイバカッタ用 10mm スペーサ	
使用材料	UV 素線、メカニカルスプライス素子（古河電工 MS901）	
最終更新日	2022/02/15	